3.1 コールドチェーンを支える冷凍冷蔵機器の脱フロン・脱炭素化推進事業／脱炭素型自然冷媒機器の導入支援事業

⑤遠隔監視システムを用いたCO_2冷媒冷凍機の温度管理及びノンフロン化に伴う環境負荷の軽減

生活協同組合コープながの（長野県長野市／小売業）

【HP】https://nagano.coopnet.or.jp/

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	コールドチェーンを支える冷凍冷蔵機器の脱フロン・脱炭素化推進事業
補助事業の概要	① 脱炭素型自然冷媒機器の導入支援事業 ② フロン類対策による省CO_2効果等検証事業
実施目的	2050年カーボンニュートラル及び2030年度46%削減目標の達成に向け、脱炭素に資する再エネ活用や高水準の省エネ性能等を伴う自然冷媒機器（脱炭素型自然冷媒機器）の導入・普及の拡大を加速化することにより、二酸化炭素の排出量を削減すると同時に、温室効果の高いフロン類冷媒の使用合理化を促進し、排出量削減を図る。
交付対象	地方公共団体 ｜ 民間事業者・団体等
補助率	① 原則1/3 ② 委託事業

⑤遠隔監視システムを用いたCO_2冷媒冷凍機の温度管理及びノンフロン化に伴う環境負荷の軽減

事業の概要

補助金額	補助金額	約1,228万円
	補助率	1/3
導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	自然冷媒冷凍機（冷媒：CO_2）
事業期間	稼働日	2025年2月
備考	導入台数	5台



冷凍機



冷結庫

事業の効果

エネルギーコスト※
▲約247（万円／年）

CO_2削減効果
約86（t-CO_2／年）

投資回収年数
16（年）→ **10**（年）

CO_2削減コスト
1.6（万円／t-CO_2）

副次的効果
- **遠隔監視システムにより管理することで24時間の温度管理が可能となり、異常検知が容易となった**
- **ノンフロンによる環境負荷の軽減に繋がった**

※ エネルギーコストは、電力単価：21.6円／kWh（出典：経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会）及び、設備導入前の消費電力量（稼働量にあわせた補正値）と設備導入後の消費電力実績との差分を基に試算。

事業者の声



滝沢 亮｜**生活協同組合コープながの　管理部　総務グループ　係長**

コープながのでは、2030年温室効果ガス削減目標（2013年度比60%削減）の達成に向けた取り組みを実施しています。そのため、新設事業所の主要な冷凍冷蔵設備は、基本的にフロン類を使用しない「ノンフロン機器（CO_2冷凍機）」を採用しており、将来的には全設備への自然冷媒機器導入を目標としております。

また、「電動化を主とした車両燃料の低炭素化」「再生可能エネルギーの創出と使用の拡大」も積極的に推進しています。